

平成25年度新潟市美術館事業報告

I 展覧会事業

1. コレクション展

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
4月12日～ 6月30日	コレクション展Ⅰ 「名品図鑑A to Z」	新潟市美術館のコレクションから厳選した名品を、主に作家名のAからZまでの順で並べて紹介。また、新収蔵品と修復作品も併せて展示した。	8,314	69	120
7月5日～ 9月23日	コレクション展Ⅱ 「ニッポン・画はどこにある？」	同時期に開催された「山口晃展」にあわせて、多様な時代・分野の作品を通じて「日本画」の概念の再考を試みた。	7,789	67	116
9月28日～ 12月23日	コレクション展Ⅲ 「こころのかたち」	同時期に開催された「オディロン・ルドン」展にあわせて、作家たちがこころの中で抱いた内面的なイメージを、どのように平面や立体作品に仕上げていったかに焦点を当てて紹介した。	6,169	76	81
1月2日～ 4月6日	コレクション展Ⅳ 「101歳の阿部展也」	同時期に開催された企画展「ニイガタ・クリエーション」にあわせて、国際的に活躍した五泉市出身の阿部展也の作品を、生誕101年を記念し個展形式で展示。	9,946	80	124
合計			32,218	292	110

2. 企画展

(延人数単位:人、金額単位:千円)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
			歳入／歳出 収益率		
4月27日～ 7月15日	サザエさん！展 —長谷川町子とその時代—	長谷川町子美術館の全面協力により、漫画原画、絵画、愛蔵品などを通じ、偉大な漫画家の世界を紹介した自主企画展。 ＜新潟市美術館とNSTIによる実行委員会が主催＞	24,298	70	347
			9,017／6,000 150.3%		
7月27日～ 9月29日	山口晃展 —またまた澁エンナーレ 老若男女ご覧あれ—	日本美術を巧みに引用しながら、透徹した眼で現代世界を描く山口晃の個展。油絵、立体作品、挿画などを一堂に展示した巡回展。	10,607	57	186
			7,432／10,543 70.5%		
11月2日～ 12月23日	オディロン・ルドン —夢の起源—	ポルドー美術館と岐阜県美術館の名品を中心に、修行時代から木炭画や版画による「黒」の芸術、油彩やパステルによる鮮やかな色彩の世界へと、その変貌を紹介した巡回展。 ＜新潟市美術館とNSTIによる実行委員会が主催＞	7,503	50	150
			2,542／6,520 40.7%		
1月2日～ 2月2日	新春三大美術展 あそぶ浮世絵 ねこづくし —広重、国芳、芳年 初春にやんとも猫 だらけ—	2010年より、大和デパートの閉鎖により当館で開催している展覧会。(公財)平木浮世絵財団のコレクションから「猫」をテーマに「あそぶ浮世絵 ねこづくし」と題して展示構成。 ＜新潟市美術館と新潟日報社による実行委員会が主催＞	18,240	30	608
			6,793／5,000 135.9%		
2月15日～ 3月30日	ニイガタ・クリエーション 美術館は生きている	新潟出身の飯田清子、富井大裕、丸山直文の作品を展示。また、Noismの舞台美術を使ったインスタレーションやメンバーによるパフォーマンスを随時開催するなど、新しい試みを行った自主企画展。	2,398	38	63
			3,163／8,360 37.8%		
合計			63,046	245	257
			28,947／36,153 80.1%		

3. 新潟市美術展(貸館)

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
10月16日～20日 23日～27日	第45回新潟市美術展	新潟市に在住・通学・通勤している市民の作品による展覧会	6,240	10	624

II 教育普及事業

1. コレクション展関連

(延人数)

展覧会名	事業名	内容	参加者数
コレクション展Ⅰ	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など(4/28、5/25、6/22) 3回	22
コレクション展Ⅱ		学芸員による展示作品の解説など(7/28、8/24) 2回	29
コレクション展Ⅲ		学芸員による展示作品の解説など(9/28、10/27、11/23) 3回	19
コレクション展Ⅳ		学芸員による展示作品の解説など(1/25、2/23、3/22) 3回	11
合計			81

2. 企画展関連

※特記のないものは当館講堂にて開催

(延人数 単位:人)

企画展名	事業名	内容	参加者数
サザエさん！展 —長谷川町子とその時代—	講演会「アニメ サザエさんができるまで」(4/27実施)	田中洋一氏(株式会社エイケン制作部長)による講演	75
	講演会「漫画史の中のサザエさん」(6/9実施)	清水勲氏(漫画・諷刺画研究者、元帝京平成大学教授)による講演	69
	トークショー「サザエさんを調べる」(6/23実施)	橋本野乃子氏(長谷川町子美術館学芸員)による講演 ※聞き手:藤井素彦学芸員	78
山口晃展 —またまた激エンナーレ —老若男女ご覧あれ—	「山口晃による絵解き+サイン会」(7/27実施)	山口晃氏による絵解きとサイン会	102
	「山口晃によるトークショー」(9/7実施)	山口晃氏によるトークショー	100
	ギャラリートーク (会期中の日曜日:8/4、18、9/1、15実施)	学芸員による展示作品の解説 【会場:当館展示室】	134
オディロン・ルドン —夢の起源—	講演会「ルドン—幻想の起源」(11/3実施)	山本敦子氏(同展監修者、前岐阜県美術館学芸部長)	50
	講演会「オディロン・ルドンと象徴主義」(11/24実施)	本江邦夫氏(多摩美術大学教授)による講演	56
	トーク&コンサート「ルドンの夢をたどって～画家が愛した音楽」(12/7)	鶴園紫磯子氏(桐朋学園大学講師)によるトークとピアノ演奏 【会場:当館常設展示室】	71
	ギャラリートーク (11/9、30、12/1、14実施)	学芸員による展示作品の解説 【会場:当館展示室】	71
	子どものためのギャラリートツアー (11/10、12/8実施)	学芸員による子どものためのギャラリートツアー 【会場:当館展示室】	10
新春三大美術展 あそぶ浮世絵 ねこづくし —広重、国芳、芳年 初春にゃんとも猫だらけ—	講演会「浮世絵に描かれた猫たち」(1/19実施)	佐藤光信氏(公益財団法人平木浮世絵財団常務理事)による講演	74
	福招き寄席「いかにばネーコって」(1/25実施)	立川談笑氏(落語家)による「ねこ落語」の寄席公演 【会場:メディアシップ・日報ホール】	188
	ギャラリートーク (1/5、12、18実施)	学芸員による展示作品の解説 【会場:当館展示室】	120
ニイガタ・クリエーション 美術館は生きている	アーティスト・トークショー(2/15実施)	同展出品作家の丸山直文氏、富井大裕氏、阪田清子氏、金森穂氏によるトークショー ※聞き手:塩田純一館長、荒井直美学芸員	84
	ミュージアムコンサート「横坂源—チェロとともに生きる」(2/22実施)	新潟市出身の横坂源氏によるチェロ演奏	88
	ギャラリートーク (3/2、16実施)	学芸員による展示作品の解説 【会場:当館展示室】	36
合計			1,406

3. 学校向け教育普及事業

①子どものための「出前美術館」(新津美術館と分担実施 15校中12校を実施)

(単位:人)

実施日	実施校	内容	参加者数		
			児童・生徒	一般 (含教職員)	合計
6月6日	白南中学校	信田俊郎(画家)による講演とワークショップ	35	8	43
7月3日	鳥屋野中学校	櫛谷一代氏(日本画家)による講演とワークショップ	33	2	35
7月8日	曾野木小学校	櫛谷一代氏(日本画家)による講演とワークショップ	56	5	61
7月10日	関屋中学校	信田俊郎(画家)による講演とワークショップ	183	11	194
7月18日	大淵小学校	菅井甚右衛門・哲氏(書人)による講演とワークショップ	15	10	25
7月19日	太夫浜小学校	小飯塚眞理子氏(ファイバーワーク造形作家)による講演とワークショップ	37	1	38
9月5日	竹尾小学校	菅井甚右衛門・哲氏(書人)による講演とワークショップ	42	9	51
9月9日	万代長嶺小学校	櫛谷一代氏(日本画家)による講演とワークショップ	55	2	57
9月27日	新潟大学教育学部付属 特別支援学校	信田俊郎(画家)による講演とワークショップ	10	6	16
10月11日	下山中学校	櫛谷一代氏(日本画家)による講演とワークショップ	24	2	26
11月16日	山潟小学校	菅井甚右衛門・哲氏(書人)によるワークショップ	135	35	170
11月26日	濁川小学校	菅井甚右衛門・哲氏(書人)によるワークショップ	68	5	73
実施校計12校		合計	693	96	789

②学校のためのオープン・ギャラリー2013

(単位:人)

実施日	実施校	内容	参加者数		
			児童・生徒	引率	合計
7月12日	鏡郷小学校 3年生	サザエさん!展の鑑賞	31	4	35
7月31日	亀田西中学校 美術部	山口晃展の鑑賞	12	3	15
9月10日	山の下小学校 5年生	山口晃展の鑑賞	39	1	40
9月18日	葛塚小学校 4年生	山口晃展・コレクション展Ⅲの鑑賞	84	4	88
9月25日	立仏小学校 6年生	山口晃展の鑑賞	65	3	68
11月21日	江南小学校 4年生	ルドン展の鑑賞	77	7	84
11月29日	大野小学校 4年生	コレクション展Ⅲ・ルドン展の鑑賞	79	3	82
12月6日	大形中学校 2年生	ルドン展の鑑賞	149	5	154
1月16日	潟東東小学校 3・4年生	コレクション展Ⅳの鑑賞	43	3	46
実施校計9校		合計	579	33	612

③教職員視察ウィーク

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	参加者数
4月28日～ 5月5日	「サザエさん!展」 「コレクション展Ⅰ」	新潟市内の幼稚園・保育園や学校の教職員から、企画展・常設展を視察してもらい、授業での美術館活用・利用に役立ててもらったり、児童・生徒へ美術館や展覧会を紹介してもらったりするための視察・広報期間。 ※新春展(あそぶ浮世絵ねこづくし)については実施せず。	20
7月28日～ 8月4日	「山口晃展」 「コレクション展Ⅰ」		18
11月3日～ 11月10日	「オディロン・ルドン」 「コレクション展Ⅱ」		14
2月16日～ 2月23日	「ニイガタ・クリエイション」 「コレクション展Ⅳ」		7
合計			59

4. 美術講座

※いずれも当館講堂にて開催

(単位:人)

実施日	講座名	講師	参加者数
5月19日	長谷川町子の戦中・戦後	講師:藤井素彦学芸員	38
8月17日	日本画滅亡論とは何だったのか	講師:藤井素彦学芸員	30
9月21日	洛中洛外図の愉しみ —狩野永徳から山口晃まで—	講師:松沢寿重学芸係長	44
11月16日	ルドン絵画に見るギリシア神話	講師:山岸亜友美学芸員	59
12月15日	語りだす絵画 —19世紀の版画芸術	講師:荒井直美学芸員	33
2月1日	阿部展也入門!	講師:上池仁子学芸員	30
3月15日	現代美術展のつくり方	講師:塩田純一館長	34
実施計7回		合計	268

5. 実技講座

(延人数 単位:人)

実施日	講座名	内容	参加者数
9月22日	日比野克彦ワークショップ「階段がある理由」	日比野克彦氏(造形作家)による段ボールを使ったワークショップ ※当館実習室および西大畑界限、西大畑公園で実施 ※9月22日～10月20日 講座の作品を新潟日報メディアシップで展示	30
3月9日	ワークショップ「バテンレースをつくらう」	上越に伝わる手工芸「バテンレース」を作るワークショップ 講師:熊田貞子氏・谷真知子氏・相澤満千代氏 協力:NPO法人頸城野郷土資料室 ※当館実習室にて開催	23
実施計2回		合計	53

6. 子ども向け講座

(単位:人)

実施日	事業名	内容	参加者数
8月4日	まるごと!美術館たんけんツアー	親子を対象に、クイズを解きながら美術館の内側(バックヤードを含む)と外側を楽しく見学。	子ども 8 保護者 9
8月25日	夏休み子ども講座「風と遊ぶ ゆらゆらアート」	カルダーの作品《赤、空中のデイジー》を鑑賞し、針金や色画用紙、たこ糸といった身近な素材でオリジナルのモビールを制作	子ども 16 保護者 8
実施計2回(2日)		合計	子ども 24 保護者 17

7. 博物館実習受け入れ

(単位:人)

期間	内容	参加者数
8月19日～ 8月30日	学芸員資格取得にかかる実習生の受け入れ	6

Ⅲ 調査研究事業

項目	内容
美術館年報	美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の調査・研究の基礎資料として活用する。年1回発行。発行数:300部 配布先:他の美術館や関係機関ほかに送付
研究紀要	美術館の調査研究活動の成果を論文や研究ノートとして掲載。新津美術館と共同で年1回発行。発行数:300部 配布先:他の美術館や関係機関ほかに送付

Ⅳ 収集保存事業

1. 美術資料の収集

①購入

作家名/作品名	材質・寸法	購入価額(円)
阿部展也/《Garden》	エンコースティック、板 145.0×112.0cm	3,230,000
阿部展也/《Flowing stone》	エンコースティック、板 90.5×121.3cm	2,300,000
阿部展也/《White Script(B)》	エンコースティック、板 91.0×116.5cm	2,300,000
阿部展也/《見きれぬ文字》	エンコースティック、板 65.5×92.0cm	1,500,000
阿部展也/《Echo No.01-Roma》	エンコースティック、板 116.5×97.0cm	1,760,000
阿部展也/《R-14-ROMA》	エンコースティック、板 138.5×146.3cm	3,700,000
阿部展也/《作品》	鉛筆、ボールペン、色鉛筆、カラーセロハン、方眼紙 69.0×73.5cm	700,000
阿部展也/《BLUE ISLAMITE》	アクリル、カンバス 109.5×99.5cm	1,600,000
阿部展也/《EARTH R-1-ROMA》	アクリル、カンバス 99.5×79.8cm	1,100,000
阿部展也/《R-29-ROMA》	アクリル、カンバス 100.0×93.0cm	1,300,000
絵画10点	合計	19,490,000

②寄贈

区分	作家名(点数)
絵画 87点	峰村リツ子(3点)、山口薫(1点)、笠原勲(1点)、長井亮之(8点)、小島丹滢(2点)、佐藤哲三郎(1点)、矢部友衛(5点)、岡本唐貴(5点)、山上嘉吉(3点)、高森捷三(1点)、飯田春行(57点)
写真 40点	荒木経惟(40点)
計127点	

③管理替(東地区公民館より)

区分	作家名(点数)
絵画 1点	長井亮之(1点)
計1点	

2. 作品の修復

作品名	内容
白井徳重《風景》 1924年	洗浄、破損部の補填、補彩、補強などの修復作業。収蔵以前からの古い損傷や汚れ等があったため、今後の展示活用も考慮し、修復を行った。
阿部展也《Night》の額縁 1947年	塗装部分の劣化、剥落など傷みがあったため、今後の展示活用も考慮し、修復を行った。

3. 収蔵・展示環境保全/作品管理

項目	内容
収蔵・展示環境保全	収蔵庫、展示室の温湿度管理、収蔵庫の定期清掃(2回) 浮遊菌調査(6回)、捕虫トラップ調査(2回)を実施(※公益財団法人文化財虫害研究所へ委託)
作品管理	作品のデータベース化をすすめ、カードとデータの2元管理を行い、事務の効率化を図った。

V 施設普及事業ほか

項目	内容
美術館ニュース「Wave」	美術館の諸活動を広く広報するため、他の美術館や関係機関、関係者に送付するほか、市出先機関の窓口等でも配布する。年1回発行。 発行数:7,000部 配布先:他の美術館や関係機関、市出先機関の窓口、近隣文化施設
クラシックストリート	5月5日、ラ・フォル・ジュルネ新潟2013関連イベントとして、新潟ジャズストリート実行委員会の主催で開催。当館は、常設展示室の会場設営、リハーサル及び広報、当日の運営で協力。 4組の演奏者による4回のクラシック音楽公演(各回30分間)を実施し、計110人の一般市民が参加。
ミュージアムコンサート(再掲)	12月7日、「ルドン展」の関連事業として、鶴園紫磯子氏(桐朋学園大学講師)によるトーク&コンサート「ルドンの夢をたどって～画家が愛した音楽」を開催。 会場は閉館後の常設展示室を使用し、計71名が参加。
ミュージアム・ショップの開設	2013年4月27日、常設のミュージアム・ショップ「ルルル」をエントランスに開設。企画展に関連したオリジナル・グッズの開発、販売も行った。
他施設との連携	新潟アートリンク(新潟県立近代美術館、万県立代島美術館、新津美術館との4館による連携) 共通チラシの作成、スタンプラリーの実施
	〈新津美術館との連携〉 ・研究紀要の発行(再掲) ・図録や絵はがきの相互販売 ・ホームページの相互リンク ・こどもスタンプカードの共通運用
	〈西大畑・旭町界隈の文化施設(砂丘館、旧齋藤家別邸など)との連携〉 「古くてアートな」町歩きマップの作成、情報交換
新潟市美術館協会との連携	・解説会の開催「ふれあい美術館ガイド」年10回 ・広報の支援 展覧会ポスター・チラシの区分けなど 年8回 ・資料整理の支援 新聞記事スクラップの整理など 年95回

VI 新潟市美術館大規模改修事業

新潟市美術館開館30周年を節目とする改修工事の設計を行い、本工事を事業予算化した。(工事予算:756,000千円)

「新潟市美術館の今後の運営方針」に対する 平成25年度 実施概要

【構想の理念】 政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館

1 「あるもの（館蔵品を含む地域の多様な文化資源・自然環境）」を活かし、新たな知を掘り起す 「発見する美術館」
2 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が 「学べる美術館」
3 さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る 「生きている美術館」
4 市民同士、地域の文化施設相互が 「つながる美術館」
5 高い質を保ち、市民が誇れる 「信頼の美術館」

【各論と具体策】

各論	具体策	理念との対応	平成25年度 実施内容	事業報告頁
コレクションの充実と有効活用	(1) コレクションの充実 ①新潟の昨日・今日・明日 ②19～20世紀の美術 ③21世紀の美術（国内中心）	【1】【5】	(ア) 美術資料の購入・寄贈作品の受け入れ 〈購入〉10点 阿部展也 絵画10点 〈寄贈〉127点 絵画87点、写真40点 〈管理替〉1点 絵画1点	5
	(2) コレクション展の充実（多様な視点から光を当てる）		(ア) コレクション展の開催 年4回の展示替えを実施	1
	(3) 所蔵品に関する調査研究の深化と成果の公開		(ア) 美術館年報の発行 (イ) 研究紀要の発行 (ウ) コレクション展の開催（再掲）	5 5 1
	(4) 市内の他施設との連携（共同研究、資料貸借、共同展の開催など）	【4】	(ア) 県立近代美術館、万代島美術館との連携 共通チラシの作成、スタンプラリーの実施 (イ) 新津美術館との連携 研究紀要の発行（再掲）、 物販（両館の図録や絵はがきを双方で販売） 広報（ホームページで相互リンク） こどもスタンプカードの運用（H25.4月～） （対象：中学生以下、4個で景品プレゼント） (ウ) 西大畑・旭町界隈の文化施設（砂丘館、旧齋藤家別邸など）との連携 「古くてアートな」町歩きマップの作成	6 6 6
企画展の充実	①コレクションの特色を反映した展覧会の開催 ②地域において顕彰すべき作家を対象とした展覧会の開催 ③多様な分野の質の高い展覧会の開催 ④姉妹都市や環日本海諸国との交流など、海外の美術を対象とした展覧会の開催	【1】【3】【5】	(ア) 年5回の企画展の開催 「サザエさん！展」「山口晃展」「オディロン・ルドン」「あそぶ浮世絵 ねこづくし」「ニイガタ・クリエーション」	1

各論	具体策	理念との対応	平成25年度 実施内容	事業報告頁
市民に親しまれる美術館づくり	(1)学校教育との連携→美術館を学校教育の場として開放し、地元作家の協力による学校への講師派遣を実施	【2】【4】	(ア) 出前美術館の開催 12校 (イ) オープンギャラリー実施 9校 (ウ) 教職員視察ウイーク参加者 延59人	3 3 3
	(2)生涯学習の場 ①コレクション展・企画展における展示作品解説 ②企画展関連事業（講演会、学芸員による関連講座 ミュージアムコンサートなど） ③美術講座（講堂の設備を活用した美術に関する講座） ④実技講座（実習室の設備を活用した作品制作の講座） ⑤市民ボランティアの解説員の育成	【2】【3】 【4】	(ア) 展示作品解説会の開催 16回 (イ) 企画展関連事業の開催 11回 (ウ) 美術講座の開催 7回 (エ) 実技講座の開催 2回 (オ) 美術館協力会解説部勉強会（毎月第2土曜日）の開催 12回	2 2 4 4 6
	(3)美術館を支援する市民（例として美術館協力会など）との連携	【4】	(ア) 美術館協力会との連携（広報作業、資料整理、解説会の開催（毎月第3日曜日））	6
文化観光・国際交流拠点としての美術館づくり	(1)発信力のアップ（ホームページの充実、広報物のデザイン度アップなど）	【3】【4】	(ア) ホームページの運用による情報発信 (イ) 「美術館の館案内」作成にあたり地元デザイナーにデザイン依頼	— —
	(2)外国語への対応（ホームページ、館内表示、スタッフなど）		(ア) 新潟市美術館 英語対応ホームページの運用	—
	(3)国内外の美術情報の提供		(ア) チラシ、ポスター掲示によるPR	—
	(4)ミュージアムショップの開設、カフェの充実		(ア) ミュージアムショップ（店名 ルルル）の開設（H25年4月） (イ) カフェ（店名 ダックラ）企画展と連動した食事の提供（あそぶ浮世絵 ねこづくし展「にゃんにゃんプレート」など）	6 —
時代に即した弾力的な美術館経営	(1)企画展事業のマネジメント ①報道機関との共催関係の形成や実行委員会形式の展覧会の開催 ②年間を通じて、収益率を意識した展覧会の企画・運営	【5】	(ア) 報道機関との実行委員会形式の展覧会の開催「サザエさん！展」「オディロン・ルドン」NSTと実行委員会組織 「あそぶ浮世絵 ねこづくし」新潟日報社と実行委員会組織 (イ) 年間企画展収益率 80.1% ※サザエさん！展収益率 150.3% 歳出 36,153千円 歳入 28,947千円	1 1
	(2)新規の来館者を増やし、リピーターを獲得するためのしくみづくり	【4】	(ア) こどもスタンプカードの運用（再掲）（対象：中学生以下、4個で景品プレゼント）新津美術館と共同運用開始（H25.4月～） (イ) 県立近代美術館、万代島美術館との連携（再掲）新潟アートリンク（スタンプラリー）	6 6
組織と人員配置および施設管理	(1)展示保存環境の堅持と必要な人員配置、および人材の確保・育成	【5】	(ア) 定期的な室内保存環境の検査 →(財)文化財虫害研究所へ委託 (イ) 学芸員の採用（H25.4月1名、H26.4月1名） (ウ) 各種研修への参加（指定文化財企画・展示セミナー、美術館を活用した鑑賞教育のための指導者研修 ほか）	5 — —
	(2)施設機能の充実		大規模改修工事の設計及び事業予算化 工事予算：756,000千円	6
	(3)中・長期の継続的な事業活動を支えるため、直営形式による管理運営体制を維持		(ア) 直営形式による管理運営体制の維持	—

平成25年度 新潟市新津美術館事業報告

I 展覧会事業

1. コレクション展

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
4月2日～ 5月12日	春・チューリップ —笹岡了一と秋山庄太郎—	「春とチューリップ」をテーマに作品を展示 (笹岡了一:5点、秋山庄太郎14点)	9,229	38	243
5月18日～ 7月28日	仮面ライダーアート展で展示室を使用したため、所蔵品展の開催はなし。		—	—	—
8月3日～ 10月14日	自然のすがた・かたち	「美しい自然の風景」をテーマに作品を展示 (笹岡了一:2点、中村琢二、佐藤園夫、麻田鷹司、佐藤昭平、白井進:各1点)	4,056	65	62
10月26日～ 1月18日	新潟の風景	新潟の古い町並みや郷愁を誘う風景を描いた作品を展示 (植木須美子、斎藤應志、佐野武次、渋谷和之、高橋五仙子:各1点、星野勇:5点)	23,021	66	349
1月25日～ 3月23日	小島丹漾・悦子	新潟市出身の日本画家・小島丹漾と、娘・小島悦子の作品を展示 (小島丹漾:5点、悦子:2点)	3,985	51	78
1月25日～ 3月12日	コレクション展～特別編～	麻田鷹司、横山操、棟方志功、小島丹漾、平松譲、笹岡了一、篠崎輝夫、佐藤哲三、佐藤昭平、白井進、中島萬木、下村良之介、羽下修三、金子直裕:計21点	2,905	40	73
合計			43,196	260	166

※企画展・共催展・その他の展覧会の準備期間は全館閉館のため、所蔵品展の開催はなし。

2. 企画展

(延人数単位:人、金額単位:千円)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
			歳入／歳出 収益率		
4月2日～ 5月12日	写真家 秋山庄太郎 —女優 花 PLUS—	没後10年にあたり、ゆかりの地でもある新津で、秋山の真骨頂である女優作品を中心に、初期の作品から最晩年までの代表作を展示した自主企画展。	9,229	38	243
			5,253／3,549 148.0%		
5月18日～ 7月28日	仮面ライダーアート展	原作者・石ノ森章太郎の貴重な原画や愛用品の展示のほか、仮面ライダーの立像29体、バイク5台を展示した巡回展。 <新津美術館とUXによる実行委員会が主催>	39,466	63	626
			10,692／8,000 133.6%		
8月3日～ 10月14日	日本画の現在 20年後の「横の会」	日本画研究グループ「横の会」が解散して20年後の節目に、かつてのメンバー12名の現在の新作・近作を展示した自主企画展。	4,056	65	62
			2,980／6,207 48.0%		
11月9日～ 12月25日	♪誕生35周年記念♪キヨノサチ 絵本原画の世界 みんな大好き! ノンタン展	35年にわたり愛され続けてきたノンタンシリーズ。約150点の絵本原画に加え、絵本誕生の様子がわかるラフスケッチ、アイデアノート、画材等を展示した巡回展。	15,653	43	364
			6,842／7,147 95.7%		
1月25日～ 3月23日	江南区の隠れた名品展 日本画家・横山操小品展	江南区の公共施設などが所有する“隠れた”作品を展示あわせて、燕市(旧吉田町)出身の日本画家・横山操の小品を中心に展示した自主企画展。	3,985	51	78
			1,626／2,919 55.7%		
合計			72,389	260	278
			27,393／27,823 98.5%		

※四捨五入あり

3. その他の主催展覧会

(単位:人)

期 間	事 業 名	内 容	観 覧 者	開 催 日 数	1 日 平 均
9月10日～ 9月23日	新津美術館《移動美術館》	新津美術館の所蔵品を他地域の展示施設を会場に展示 長井亮之・小島丹彦・下村良之介(日本画)、笹岡了一・佐藤昭平・ 平松謙(洋画)、秋山庄太郎・坂口綱男(写真)、植木寿美子(版 画)、坂口五峰(書)、1998年 プラチスラヴァ絵本原画展 出展作品 ほか計33点 会場: 江南区郷土資料館展示室(江南区文化会館内)	1,093	12	91
合計			1,093	12	91

4. 共催の展覧会

(延人数 単位:人)

期 間	事 業 名	内 容	観 覧 者	開 催 日 数	1 日 平 均
1月5日～ 1月18日	第10回 新潟教育アート展	下越の保育園、幼稚園、小中学生、高校生の作品の展覧会	4,816	13	370
合計			4,816	13	370

5. その他の展覧会

(延人数 単位:人)

期 間	事 業 名	内 容	観 覧 者	開 催 日 数	1 日 平 均
10月26日～ 11月4日	第7回 秋葉区美術展覧会	秋葉区に在住・勤務する市民の作品による展覧会	2,552	10	255
合計			2,552	10	255

II 教育普及事業

1. 企画展関連

(延人数 単位:人)

企画展名	事業名	内容	参加者数
写真家 秋山庄太郎 展	作品鑑賞会 (4/14、5/6実施)	当館学芸員による作品鑑賞会 会場:新津美術館展示室	30
	秋山庄太郎に挑戦! 初心者 のための写真教室 (4/21実施)	小学生親子の部、一般の部 撮影技術の話、撮影(県立植物園)、講評、ソフトフォーカス&俯瞰撮影体験 会場:新津美術館市民ギャラリー・レクチャールーム 他	28
	ピアニスト中村由利子ミュージア ムコンサート《ときめき》 (4/28実施)	イメージリクエスト演奏や秋山庄太郎作品とのコラボレーション演奏など 演奏:ピアニスト中村由利子	111
	秋山庄太郎写真美術館館長によ る講演・展示解説会 (4/29実施)	講師:上野正人氏(秋山庄太郎写真美術館館長) 開場:新津美術館レクチャールーム・展示室	56
	秋山庄太郎写真美術館館長によ る講演・展示解説会miniコンサ ート(4/29、計2回実施)	演奏:ピアニスト中村由利子 開場:新津美術館アトリウム	141
仮面ライダー アート展	仮面ライダー1号 握手&撮影会 (5/18、計3回実施)	握手&撮影会 会場:新津美術館市民ギャラリー	336
	仮面ライダーV3 握手&撮影会 (6/9、計3回実施)	握手&撮影会 会場:新津美術館市民ギャラリー	491
	仮面ライダーウィザード 握手&撮影会 (7/6、計3回実施)	握手&撮影会 会場:新津美術館市民ギャラリー	383
	仮面ライダーウィザード 撮影会 (7/6、計2回実施)	撮影会 会場:新津美術館市民ギャラリー	306
	絵本の読みきかせ (6/23・30、7/7・14・21、計9回実 施)	講師:当館ボランティアスタッフ 会場:新津美術館レクチャールーム	128
20年後の横 の会展	記念講演「横の会を語る」 (8/3実施)	出演:青山亘幹氏、畠中光享氏、箱崎睦昌氏、八木幾朗氏 会場:新津美術館市民ギャラリー	60
	「行形亭」で横の会作家と語る会 (8/4実施)	出演:青山亘幹氏、中島千波氏、仲山計介氏、箱崎睦昌氏、八木幾朗氏 会場:行形亭(新潟市中央区)	40
	横の会作家による写生指導会 (9/15実施)	講師:青山亘幹氏、中島千波氏、林潤一氏、渡辺信喜氏 会場:新津美術館市民ギャラリー	79
	美術講座 (8/31実施)	「日本画グループ『横の会』」講師:横山秀樹館長 会場:新津美術館レクチャールーム	25
	美術講座 (9/7実施)	「20年後の横の会の作家たち」講師:小熊千佳子主査 会場:新津美術館レクチャールーム	10
みんな大好き! ノタン 展	みんなのノタンお絵描き展覧 会 (11/9~12/25)	応募のあったノタンの絵を当館アトリウムに展示	28
	ノタンがやってくる☆握手会と 撮影会(11/17・23、12/22、計8 回実施)	握手&撮影会 会場:新津美術館市民ギャラリー・レクチャールーム	1,381
	ノタンのクリスマス飾りを作ろう (12/15実施)	講師:エイキミナコ氏(市内在住絵本作家) 会場:新津美術館市民ギャラリー	47
	ノタンのクリスマスパーティ (12/22実施)	絵本の読みきかせ、絵描き歌、写真撮影、ジャンケン大会など 会場:新津美術館市民ギャラリー	101
	絵本の読みきかせ (11/10・24、12/1・8、計8回実 施)	講師:当館ボランティアスタッフ 会場:新津美術館レクチャールーム	258
江南区の隠 れた名品展 ／横山操小 品展	美術講座・展示解説会 (3/8実施)	「激動の日本画家・横山操」講師:横山秀樹館長 会場:新津美術館レクチャールーム・展示室	55
	美術講座・展示解説会 (3/15実施)	「昭和初期の笹岡一と緑人社の仲間たち」講師:小林一吉学芸員 会場:新津美術館レクチャールーム・展示室	15
合計			4,109

2. 学校向け教育普及事業

① 出前美術館(新潟市美術館と分担実施 15校中3校を新潟美術館が実施、他に市美術館実施校のうち6校へ職員派遣)

(単位:人)

実施日	実施校 / 学級	内 容	参加者数		
			児童	一般(含教職員)	合計
9月12日	小須戸小学校/6年	信田俊郎氏(抽象画家)による講演とワークショップ	47	2	49
10月24日	小合東小学校/6年	小飯塚真理子氏(ファイパーワーク造形作家)による講演とワークショップ	17	1	18
10月27日	潟東東小学校/全学年	菅井甚右エ門・哲氏(書人)による講演とワークショップ	108	200	308
実施校計3校		合計	172	203	375

② 学校のためのオープンギャラリー

(単位:人)

実施日	実施校 / 学級	内 容	参加者数		
			児童	一般(含教職員)	合計
11月15日	結小学校/2年	みんな大好き! ノンタン展の鑑賞	120	5	125
11月29日	金津小学校/2年・3年	みんな大好き! ノンタン展の鑑賞	85	4	89
実施校計2校		合計	205	9	214

③ 教職員視察研修

(単位:人)

実施日	事業名	内 容	参加者数
8月3日～ 10月14日	日本画の現在 20年後の「横の会」	新潟市内の幼稚園・保育園や学校の教職員から、企画展を視察してもらい、授業での美術館活用・利用に役立ててもらったり、児童・生徒への美術館や展覧会を紹介してもらったりするための視察	0
11月9日～ 12月25日	みんな大好き! ノンタン展		20
1月25日～ 3月23日	江南区の隠れた名品展 日本画家・横山操小品展		0
合計			20

④ 博物館実習生の受け入れ

(単位:人)

実施日	内 容	参加者数
8月19日～ 8月30日	学芸員資格取得にかかる実習生の受け入れ	3

3. 美術講座

※いずれも当館レクチャールームにて開催

(単位:人)

実施日	事業名	講 師	参加者数
6月8日	日本画・東京画壇と京都画壇	講師: 横山秀樹館長	18
8月31日	日本画グループ「横の会」 【再掲】	講師: 横山秀樹館長	25
9月7日	20年後の「横の会」の作家たち 【再掲】	講師: 小熊千佳子主査	10
9月21日	花鳥山水と日本の自然	講師: 小林一吉学芸員	8
9月28日	近世新潟の文人たちの交流 -石川侃齋を中心に-	講師: 大森慎子学芸員	6
11月16日	大正期新潟の白樺派の形成	講師: 小林一吉学芸員	1
3月8日	激動の日本画家・横山操 【再掲】	講師: 横山秀樹館長	55
3月15日	「昭和初期の笹岡一と緑人社 の仲間たち」【再掲】	講師: 小林一吉学芸員	15
実施計8回		合計	138

4. 子ども向け事業

(単位:人)

実施日	事業名	内容	参加者数
4月21日	秋山庄太郎に挑戦！ 初心者のための写真教室【再掲】	小学生親子の部 撮影技術の話、撮影(県立植物園)、講評、ソフトフォーカス&俯瞰撮影体験 会場:新津美術館市民ギャラリー・レクチャールーム 他	4
11月9日～ 12月25日	ノントンのお絵描き展覧会【再掲】	応募のあったノントンの絵を当館アトリウムに展示	28
12月15日	ノントンのクリスマス飾りを作ろう【再掲】	講師:エイキミナコ氏(市内在住絵本作家) 会場:新津美術館市民ギャラリー	47
12月22日	ノントンのクリスマスパーティ【再掲】	絵本の読みきかせ、絵描き歌、写真撮影、ジャンケン大会など 会場:新津美術館市民ギャラリー	101
実施計4回		合計	180

Ⅲ 調査研究事業

項目	内容
年報の発行	美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の調査・研究の基礎資料として活用する。 平成26年7月に、平成20年度から25年度の6年間の諸活動をまとめた「6年報」を発行。
研究紀要	美術館の調査研究活動の成果を論文や研究ノートとして収載。新潟市美術館と共同で年1回発行。 発行部数:300部 配布先:他の美術館や関係機関ほかに送付
江南区・南区の美術品の調査	江南区及び南区内の学校及び公共施設等で所有または保管している美術作品について調査を実施し、展覧会の企画立案に役立てる。 <企画展>H25は江南区の隠れた名品展を開催【再掲】、H26は南区の隠れた名品展を開催

Ⅳ 収蔵保存事業

1. 美術資料の収集

①寄贈

区分	作家名(点数)
絵画 41点(うち版画7点)	笹岡了一(1点)、河内文夫(3点)、石川侃齋(1点)、波多野霞涇(1点)、加藤丹丘(1点)、関屋俊彦(20点)、水野憲一(2点)、二村裕子(1点)、畠中光享(1点)、仲山計介(1点)、中島千波(1点)、中野嘉之(1点)、米谷清和(1点)、渡辺信喜(1点)、佐々木裕之(1点)、伊藤彬(2点)、村田茂樹(1点)、中川了吉(1点)
彫刻 1点	戸張公晴(1点)
工芸 4点	亀倉蒲舟(3点)、亀倉康之(1点)
合計 46点	

②管理替(江南区役所・横越出張所より)

区分	作家名(点数)
絵画 16点	高野常与志(1点)、長井亮之(1点)、代谷実(1点)、市村三男三(5点)、中川了吉(1点)、村手忠雄(1点)、鈴木香雲(1点)、大矢黄鶴(1点)、渡辺啓輔(1点)、早津剛(1点)、佐藤哲三郎(1点)、式場庶謳子(1点)
合計 16点	

2. 作品の修復

作品名	内容
小島丹漾《凍(吹雪)》 1967(昭和42)年	画面洗浄、絵具層浮き上がり部分を接着、破損部接着、画面裏打ち、パネル張り
小島丹漾《北国の人》 1970(昭和45)年	
小島丹漾《北国の春信》 1971(昭和46)年	
小島丹漾《屋(漁港)》 1974(昭和49)年	
小島悦子《海の見える風景》 制作年不明	
小島悦子《雑木林の街並(仮題)》 1964(昭和39)年	

3. 収蔵・展示環境保全、作品管理

項目	内容
収蔵・展示環境保全	○収蔵庫、展示室の温湿度管理 ○浮遊菌数調査、虫害調査を実施(公益財団法人文化財虫菌害研究所へ委託)
作品管理	所蔵作品のカードデータ化、デジタルデータ化を実施

V 施設普及事業ほか

1. ミュージアムコンサート

※いずれも当館アトリウムで開催

(単位:人)

実施日	事業名	内容	参加者数
4月28日	ピアニスト中村由利子ミュージアムコンサート《ときめき》【再掲】	イメージリクエスト演奏や秋山庄太郎作品とのコラボレーション演奏など 演奏:ピアニスト・中村由利子	111
8月31日	唐津健テェロコンサート	テェロの名曲コンサート 演奏:チェリスト・唐津健氏、ピアニスト・鷺宮美幸氏	110
10月27日 11月2日	秋葉区美術展覧会ミニコンサート(各日2回、計4回)	演奏:新津市民合唱団、コーラル、フルートアンサンブルソノーロ、パーカッション	182
実施計6回			合計 403

2. シーズン&アート(文学と朗読と音楽を融合した公演)

(単位:人)

実施日	事業名	内容	参加者数
6月1日	第29章「高村光太郎ー安達太良山と智恵子」	「高村光太郎『智恵子抄』ほかの文学作品の朗読と解説、音楽(声楽・ソプラノ)の生演奏 会場:江南区文化会館	226
10月19日	第30章「芥川龍之介～夢の抄」	芥川龍之介『杜子春』の朗読・解説とインド音楽の調べ 会場:燕喜館	74
実施計2回			合計 300

3. 新津美術館ボランティアによる活動

(延べ人数 単位:人)

実施日	内容	参加ボランティア数
5月16日 6月6日	絵本の読みきかせ研修 2回	22
6月23日～ 7月21日	ボランティアによる絵本のよみきかせ(仮面ライダーアート展 計9回)【再掲】	16
10月13日	大人のための読みきかせ(他、打ち合わせ・練習等計18回)	110
11月10日～ 12月8日	ボランティアによる絵本のよみきかせ(みんな大好き! ノンタン展 計8回、ノンタンのクリスマスパーティ1回)【再掲】	18
4月21日～ 12月22日	イベントサポート(講演会、握手撮影会、ミュージアムコンサートなど) 計16回	68
4月～ 1月	広報補助(ポスター・チラシの封詰め、郵送作業補助)8回	18
実施回数 67回		合計 252

4. 利用者にやさしいサービス

(単位:人)

項目	内容	利用人数
「託児サービス」	会期中の第2・4の木曜・土曜日 10:00～12:00、他ミュージアムコンサート 対象:6ヶ月～未就学児 事前予約制 無料 <実績> 利用日数 12日	1
「こどもタイム」	館内にBGMを流し、親子で語り合いながら鑑賞できる時間帯を設定 会期中の第1・3の木曜・日曜日 10:00～13:00 <実績> 94日 ※仮面ライダーアート展は毎日実施	44,919
「あいてマデ～」	各展覧会会期中に1～2回、月曜日を閉館 <実績> 9日	1,115

5. その他

項目	内容
他施設との連携	○区内3施設連携による観覧料の割引 ・新津美術館、新潟市鉄道資料館、新潟県立植物園のチケット提示でそれぞれ団体割引
	○花ふるフェスタ協賛イベントの実施 ・新津観光協会等が中心となり県立植物園を会場に開催されるイベントで当日、観覧料を100円引き
	○フラワースタンプラリー ・新津美術館、新津フラワーランド、花夢里にいつ、他参加施設を巡るスタンプラリー
	○新潟市立金津小学校「ふれあいギャラリー」 ・児童の作品を新津美術館に通年展示(月1回入替)
	○市内の他文化施設との連携 ・江南区文化会館及び中央区の燕喜館でシーズン&アートを開催 ・江南区郷土資料館で新津美術館《移動美術館》を開催
	○新潟市美術館との連携 ・両館の図録や絵はがきを双方で販売 ・研究紀要の発行 ・ホームページの相互リンク ・こどもスタンプカードの運用
	○NIIGATAアートリンク ・県立近代美術館・県立万代美術館、新潟市美術館・新津美術館の4館による連携 ・4館を巡るスタンプラリー
広報の拡充	○美術専門誌や地元新聞、テレビ、ラジオを利用した広報
	○秋葉区の商店街や理容・美容組合、医院、観光協会の他、江南区、南区、五泉市、月岡地区の事業所でもポスター配布等、広報活動を拡充

「新潟市新津美術館の今後の運営方針」に対する 平成25年度 実施概要

【構想の理念】市民と連携しながら、愛され親しまれる美術館

1. 美術館の持つ資源を活用して、市民に美術に対する新たな発見と感動の場を提供し、豊かな創造力を育む「何かが見つかる美術館」
2. 美術資料の収集・整理・保管を充実・強化するとともに、次世代に引き継ぐための活用・普及を実践する「明日へ向かう美術館」
3. 他施設との連携や来館者とのコミュニケーションを図り、市民の視点に立った取り組みを実践する「みんなと歩む美術館」

【各論と具体策】

各論	具体策	理念との対応	平成25年度 実施内容	事業報告頁
展覧会の充実	(1) 独自性のある展覧会の開催 ①学芸員の研究成果を取り入れながらもその専門性に偏らない、質が高く市民に分かりやすい幅広い展覧会の開催（サブカルチャー、絵本、写真展など） ②所蔵品を活用した展覧会の開催 ③美術館に対して市民の興味を抱かせる魅力ある展覧会の開催	【1】	(ア) 年5回の企画展の開催 「写真家 秋山庄太郎ー女優 花 plusー」「仮面ライダーアート展」「日本画の現在 20年後の横の会展」「みんな大好き！ノントン展」「江南区の隠れた名品展・日本画家 横山操小品展」 (イ) 新津美術館《移動美術館》の開催【新規】 新津美術館の所蔵品を他地域の展示施設で展示	1 2
	新潟の文化や作家の育成・紹介	(1) 地域文化の魅力の発信 ①多彩な展覧会を開催することにより、新たな発見と感動の場を提供 (2) 新しい新潟の文化の発信 ①調査・研究に基づいた展覧会の開催により、新潟の文化と作家を紹介	【1】 【1】	(ア) 企画展「江南区の隠れた名品展」の開催（再掲） ※江南区内の学校及び公共施設等で所有または保管している美術作品について調査を実施し、企画展を開催
市民に愛され親しまれる美術館づくり	(1) 芸術文化の発信や交流の場づくり ①企画展関連事業の充実（講演会、学芸員による関連講座など） ②美術講座の開催（テーマを設定した美術に関する講座） ③アトリウムの空間を活用したミュージアムコンサートの開催 ④芸術家による学校等へ出前授業（アウトリーチ）の実施 ⑤季節に因んだ、文学の朗読と音楽を融合した公演（シーズン&アート）の開催 ⑥ミュージアム・ショップ、カフェの充実	【1】【3】	(ア) 企画展関連事業の開催 53回 「講演会」「展示解説会」「握手&撮影会」「写生指導会」「絵本の読みきかせ」など	3
			(イ) 美術講座の開催 8回	4
			(ウ) ミュージアムコンサートの開催 6回 「ピアノコンサート」「チェロコンサート」「フルート」「パーカッション」「合唱（2回）」	6
			(エ) 出前美術館の開催 3回 （新津美術館実施3校、他に市美術館実施校のうち6校へ職員派遣）	4
(2) 利用しやすい環境の形成 ①託児サービスの実施 ②「こどもタイム」（親子で語り合いながら鑑賞できる時間帯）の実施 ③「あいてマンド〜」（各展覧会会期中に1回、月曜日を開館）の実施	【3】	会期中の第2・4の木曜・土曜日 ＜実績＞ 利用日数1日 利用人数 1人	6	
		会期中の第1・3の木曜・日曜日 ＜実績＞ 94日 ＜利用者＞ 44,919人	6	
		会期中に1～2回、月曜日を開館 ＜実績＞ 9日 ＜利用者＞ 1,115人	6	
美術資料の収集・保存	(1) 美術資料の計画的な収集・整理・保管及び調査・研究 ①コレクションの充実（寄贈・購入・寄託）	【2】	(ア) 美術資料の寄贈等 ＜寄贈＞ 46点 絵画41点（うち版画7点）、彫刻1点、 工芸4点 ＜管理替＞ 16点（江南区役所、横越出張所より） 絵画16点 (イ) 作品の修復 6点	5

各論	具体策	理念との対応	平成24年度 実施内容	事業報告頁
美術資料の収集・保存	(2) 所蔵品台帳の整備、美術資料の積極的な活用・普及 ①常設展のほか、所蔵品による企画展の開催	【2】	(ア) 年5回のコレクション展の開催 (イ) 新津美術館《移動美術館》の開催【新規】(再掲)	1 2
他施設等との連携・交流	(1) 市民、他施設との連携協力 ①周辺施設、学校、市内の他施設との連携の充実	【3】	(ア) 秋葉区内3公共施設の連携による観覧料の割引 (新津美術館・新潟市鉄道資料館・新潟県立植物園) (イ) 花ふるフェスタ協賛イベントによる観覧料の割引 (ウ) フラワースタンプラリーの実施 秋葉区内や県内の参加店を巡るスタンプラリー (エ) 新潟市立金津小学校「ふれあいギャラリー」で通年展示 (オ) 市内の他文化施設との連携 ・新潟市江南区文化会館及び中央区の燕喜館でシーズン&アートを開催(再掲) ・新潟市江南区郷土資料館で新津美術館《移動美術館》を開催【新規】(再掲) (カ) 新潟市美術館との連携 研究紀要の発行 物販(両館の図録や絵はがきを双方で販売) 広報(ホームページで相互リンク) こどもスタンプカードの運用 (対象:中学生以下、4個で景品プレゼント) (キ) NIIGATA アートリンク 県立近代美術館・県立万代美術館、新潟市美術館・新津美術館の4館巡るスタンプラリー	7
	②ボランティアの活用・充実		(ア) 自主事業(絵本の読み聞かせなど) 18回 延べ56人 (イ) サポート活動(イベント等の会場設営、受付など) 16回 延べ68人 (ウ) 広報補助活動(ポスター、ちらし郵送作業) 8回 延べ18人 ※平成25年度登録者数 24名	6
	(2) 計画的な広報活動の実践による、美術館活動の周知 ①ホームページの充実・活用 ②様々な媒体を利用した周知		【3】	(ア) ホームページに分かりやすく情報を掲載 (イ) ブログの発信(週1~2回) (ウ) 美術専門誌や新聞、テレビ、ラジオによる広報 (エ) 近隣の区や他市等できめ細やかな広報を実施
健全なマネジメント	(1) 施設の効率的な管理運営 ①少ない人的資源の中で、安全で機能的・能動的な管理運営	【3】	(ア) 朝礼による日々の管理運営情報の共有 (イ) 定期的な館内ミーティングの開催 (ウ) 受付職員、監視員との朝礼、終礼の開催	— — —
	(2) 報道機関との共催関係の形成や実行委員会形式の展覧会の開催 ①テレビ局・新聞社との連携	【3】	(ア) 実行委員会形式での開催 1回 「仮面ライダーアート展」UXとの実行委員会組織 (イ) 全ての企画展で新潟日报社と名義共催 5回 (ウ) テレビ局と名義共催 1回 「みんな大好き!ノントン展」(NST)	1
	(3) 年間を通じて、収益率を意識した展覧会の企画・運営 ①展覧会経費と収入バランスを認識し、職員全員が予算状況を把握	【3】	(ア) 共有ファイルを活用し、展覧会ごとの収支を職員間で情報共有 (イ) 年間企画展収益率 98.5% 歳入 27,393千円 歳出 27,823千円 ※年間入館者数 89,813人	— 1
組織と人員配置 および施設管理	(1) 美術館活動を充実させるため、必要な人員配置と職員研修の実施による人材の確保と育成 ①魅力ある美術館を目指すための、職員の相互協力	【2】【3】	(ア) 各種研修への参加(ミュージアムIPM支援者研修、国宝・重要文化財(美術工芸品)の防災・防犯対策研修会、ミュージアムエドゥケーター研修ほか) (イ) 職場研修の実施(接遇研修、AEDによる救命講習ほか)	— —
	(2) 老朽化した設備などの計画的な改修 ①長期的な計画による予算措置	【2】	(ア) 展示室スポットライト・通路の一部の照明の省エネ(LED)化 (イ) 空調機器(制御関係)の更新予算要求	— —
	(3) 中・長期の継続的な事業活動を支えるための、直営形式による管理運営体制の維持	【2】	(ア) 直営形式による管理運営体制の維持 (イ) 臨時職員の弾力的な活用	— —